

IV. 福祉が充実したまちづくり

1. 高齢者福祉の充実

関連するSDGs



現 状

- 住み慣れた場所で、自分らしい生活を最期まで送ることができる「地域包括ケアシステム^(※)」により、地域や家庭での助け合い・支え合いを始め、介護保険サービスや介護施設、医療体制の充実に努めています。
- 介護予防に資する様々な取組や住民主体の活動への支援等を通して、高齢者の健康や生きがいづくりを推進しています。
- 「地域包括ケアシステム」において、「共助」に位置づけられる介護保険等の適正な運営に努めています。



太田の郷でのゆうゆう体操の様子

課 題

- 最新の人口推計によると、今後、本町の高齢者数は減少しますが、後期高齢者は令和12（2030）年頃までは増加から高止まりが見込まれていることから、加齢に伴う要介護認定者の増加や、要介護者の軽度から中重度への進行、認知症者の増加等が懸念されます。
- 介護保険事業の適正な運営のために介護予防・重度化防止の施策に取り組むとともに、介護が必要になった時には必要な支援が受けられる環境の整備と充実が求められます。

施策により目指す方向性

- ◇ 「地域共生社会^(※)」の概念が定着し、様々な人々に対する支援体制が整ったまち
- ◇ 高齢者が積極的に自らの健康づくりに取り組むまち

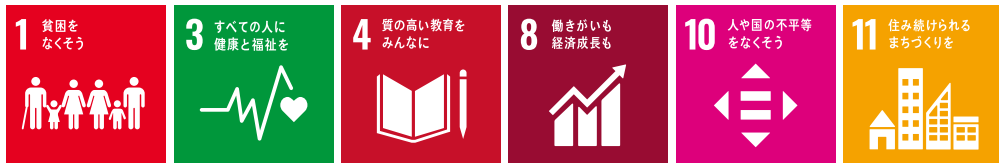
■ 実施する主な施策

(★は重点施策)

施策の内容	担当課
<p>(1) 地域共生社会の実現 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に限らず、様々な困りごとを抱えた人を丸ごと受け止め、必要な支援に繋げるため、本町の支援体制を構築し、その機能の強化を図ります。 ・ 高齢者を含め、誰もが地域で活躍できる仕組みづくりを図ります。 	<p>福祉課 町立温泉病院</p>
<p>(2) 地域包括ケアシステムの深化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域での互助や専門職の連携強化を行い、地域包括ケアシステムの深化を図ります。 	<p>福祉課 町立温泉病院</p>
<p>(3) 介護予防・健康づくりの推進 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が自ら介護予防に取り組めるよう、町民主体の活動への支援のほか、様々な取組を推進します。 ・ データを活用し、効率的・効果的な介護予防や健康づくりを進めるため、医療保険の保健事業と介護予防の一体的な実施を図ります。 	<div style="text-align: center;">  <p>住民同士の交流の様子</p> </div> <p>福祉課 住民課</p>
<p>(4) 認知症への取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症になってもできる限り変わらずに自分らしく暮らすことができるよう、地域で支える仕組みづくりを推進します。 ・ 認知症の人に早期に支援を届けることができるよう、体制の整備を図ります。 	<p>福祉課</p>
<p>(5) 将来を見据えた介護基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の高齢者人口がピークを迎える令和22（2040）年を見据えて、必要となる介護サービス及び介護人材といった人的な基盤を確保するための取組を推進します。 	<p>福祉課</p>

2. 子ども・子育て支援の充実

関連する
SDGs



現 状

- 本町では近年、少子化が進行していますが、子どもや子育て家庭への支援の充実により、出生数の維持・向上と子ども達の健やかな育成に取り組んでいます。
- 平成30（2018）年度から主食費、令和2（2020）年10月からの保育料無償化に伴い副食費を公費負担とし、食育の充実、保護者負担の軽減等の子育て支援施策を実施しています。
- 未就学児の一時預かり事業や小学生を預かる学童保育所の充実に取り組んでいます。
- 子育て世代包括支援センター「はぐハグ」を開設し、担当課や関係機関と連携しながら、妊娠・出産・育児に至る切れ目のない相談支援体制の充実に取り組んでいます。
- 子どもの虐待防止ネットワーク地域協議会（要保護児童対策地域協議会）にて協議の場を設け、児童相談所、子育て世代包括支援センター、教育委員会等の関係機関と連携して家庭訪問や個別相談・個別支援を行い、虐待の予防や早期発見に取り組んでいます。
- 地域子育て支援センター「にこにこキッズ」ではボランティアで支える「たちサポーター^(※)」を設置し、各種研修の受講等、人材の育成に取り組んでいます。
- ひとり親家庭を支えるため、経済的支援や相談支援等、様々な支援を実施しています。
- 夏の子どもを守る運動や青少年健全育成強調月間、薬物乱用防止等の青少年健全育成に係る啓発活動や、登校に不安のある児童・生徒への家庭訪問・学習支援を行うことで、青少年の健全育成に取り組んでいます。



保育所での園児たちの様子

課 題

- 近年の少子化の進行に加え、共働き世帯や核家族の増加に伴い、家庭や地域における子育てをめぐる環境は厳しさを増す一方であり、子育て家庭への支援を一層強化することが求められます。
- 若者や子育て世代である20～40代の流出を防ぐとともに、出生率の向上に向けた経済的支援や子育て支援の更なる充実が求められています。
- 本町が特色ある子ども・子育て支援を推進し、子ども・子育て支援に力を入れていることを町広報紙や町ホームページ・SNS等で広く情報発信することにより、町民の満足度の向上と若者や子育て世代のUターン・Iターン等の移住・定住に繋げる必要があります。

施策により目指す方向性

- ◇ 子どもと子育て家庭の状況に応じて必要な支援が行き届くまち
- ◇ 子ども一人ひとりの個性を認め、心豊かに成長できるまち

■ 実施する主な施策

(★は重点施策)

施策の内容	担当課
<p>(1) 子ども・子育て支援の推進 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の共働き等を支援するため、保育園・認定こども園での一時預かり保育や小学生を対象とした学童保育所の充実を図ります。 ・子育て環境の充実を図るため、子どもの居場所づくりの整備検討を行います。 ・子育て世代包括支援センター「はぐハグ」を中心に、妊娠・出産・育児に至る切れ目のない相談支援体制の充実に努めます。 ・児童虐待の予防及び早期発見・早期対応に向けた活動を推進します。 ・医療費助成による子育て家庭の経済的な支援を実施します。 	<p>福祉課 住民課</p>
<p>(2) 子ども・子育て支援を支えるボランティアの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施策の充実を図るため、子育て支援の担い手となる人材を養成します。 ・地域の様々な施策・事業を把握し、子育て中の保護者等のニーズに応じた情報を発信できる人材を養成します。 	<p>福祉課</p>
<p>(3) ひとり親家庭への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況にあるひとり親家庭について、経済的支援や就労支援を始め、親子共々健やかに育つための様々な支援を実施します。 	<p>福祉課 住民課</p>
<p>(4) 青少年の健全育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及び文化活動の青少年リーダーの育成に努めます。 ・地区別活動の充実を図ります。 ・不登校児の通学・学習支援を行います。 ・道徳・しつけ等の家庭教育の支援を推進します。 	<p>教育委員会</p>



保育所での芋掘り体験の様子



たっちサポーターの活動の様子

3. 障がい児者支援と社会保障の充実

関連する SDGs



現 状

- 重症心身障がい児者の方を対象に児童発達支援事業・放課後等デイサービス・生活介護事業を提供する多機能型事業所「かのん」、NPO 法人による就労継続支援 A 型事業所の「くじらぐも」がそれぞれ開所し、障がい児者の方への支援を推進しています。
- 新宮・東牟婁圏域自立支援協議会を中心に、各種研修の実施、地域移行や地域定着のための障がい者の雇用促進と工賃向上の啓発、農福連携の推進等を実施しています。
- 職員の資質向上のため、障がいに関する理解の促進を行っています。
- 令和元（2019）年度に新宮・東牟婁圏域で相談支援事業所に委託して地域生活支援拠点事業を開始し、障がい者の自立した在宅生活を支援しています。
- 障がい児者に対する障がい福祉サービスを適切に利用できるよう、当事者とその家族等の生活を支援しています。
- 生活困窮者に対して、経済的支援や就労支援等、自立に向けた支援を行っています。
- 国、県と連携しながら、社会保障制度として、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療制度を運営しています。



多機能型事業所 かのん

課 題

- 身体・知的・精神の各障がいに加え、難病や発達障がい等、支援すべき範囲が広がっています。
- 障がい児者に対する差別や虐待、介護・介助する家族の高齢化による先行きの不安の解消への取り組みが求められます。
- 障がい児に対して、幼少期・学童期から成人に至るライフステージに応じた支援や社会人になってからの就労を見越した支援が必要です。
- 障がい児者は介護・介助する家族を含めて情報弱者であることが多いため、視覚障がいや聴覚障がい、高齢者等にも対応した情報発信が必要です。
- 国民健康保険等の社会保障制度への町民の理解を深め、制度の安定化に努めることが求められます。

施策により目指す方向性

- ◇ 切れ目のない支援により、障がいのある人が自分らしく暮らせるまち
- ◇ 町民一人ひとりが必要な社会保障制度を受けられるまち

■ 実施する主な施策

(★は重点施策)

施策の内容	担当課
<p>(1) 障がい児者に理解のあるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行事への参加の呼びかけ等、社会参加への働きかけを推進します。 ・障がいに関する理解を進め、障がい者雇用の拡大を図ります。 ・発達障がいについて、乳幼児期の健診時等を通して早期発見に努め、早期療育に繋がるよう支援します。 ・各種公共施設のバリアフリー化や各種交通機関の運賃割引を実施し、障がい児者の社会参加を進めます。 	福祉課
<p>(2) 在宅福祉の充実 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅障がい児者の実態把握に努めるとともに補装具費の給付、住宅改修費の助成、居宅介護サービス等の利用支援を行い、在宅福祉を行える環境の整備を進めます。 ・行政、事業所、病院が連携し、障がい児者支援施設や精神科病院に入所・入院されている人が社会復帰できる環境づくりに努めます。 	福祉課
<p>(3) 障がい児者施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療、教育、就労支援等の施設の整備に努めます。 	福祉課
<p>(4) 各種手当等の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種援護措置、年金や税制上の優遇措置、福祉資金の貸付、各種手当等の活用を促進します。 ・今後も町広報紙やリーフレット等で各種手当等に対する周知を行います。 	福祉課
<p>(5) 社会保障制度の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護について、的確な調査活動による被保護者の把握に努めます。 ・生活保護に至る前に、個別対応による自立・更生の指導援助を強化します。 ・国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療制度等の理解を深め、適切な利用に繋げていきます。 ・町広報紙や回覧等で各種社会保障制度に対する周知を行います。 	福祉課 住民課

4. 保健・医療の充実

関連する SDGs



現 状

- 町民の健康の維持・増進のため、健康教育や健康相談に取り組み、町民が積極的かつ主体的に生活習慣の改善に取り組めるよう支援しています。
- 集団検診回数の増加やスムーズな受診体制づくり、がん検診対象者となる年齢に達した方への無料受診券配布、未受診者への勧奨通知等を行い、受診率の向上に努めています。
- 予防接種の定期的な実施を行い、各種疾病の予防に努めています。
- 平成30（2018）年4月から町立温泉病院が現在の病床数120の新病院施設に移転し、内科・整形外科・リハビリテーション科の3科を中心とした診療と、休日・夜間の救急患者の受け入れを行っています。



平成30年4月に開院した町立温泉病院



町立温泉病院でのリハビリ訓練の様子

課 題

- 悪性新生物や心疾患等の生活習慣病による死亡が多くなっています。健康に関連する事業への参加者や健（検）診受診者が少なく、健康意識の低下が懸念され、町民が主体的に生活習慣の改善に取り組めるよう支援が必要です。
- 町立温泉病院の診療体制について、医師・医療スタッフの確保が課題となっており、充足に向けた継続的な取組が必要です。

施策により目指す方向性

◇ 町民一人ひとりが健康を保ち、生き生きと生涯を過ごせるまち

■ 実施する主な施策

(★は重点施策)

施策の内容	担当課
<p>(1) 生活習慣病対策の充実 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「栄養」「運動」「健康管理」の3つに重点を置き、健康増進・食育推進に努めます。 ・各種健（検）診の受診率向上に努め、疾病の早期発見・早期治療に繋げるとともに、生活習慣病予防の意識の高揚を図ります。 ・食生活改善推進員の養成講座を開催し、人材確保に努めます。 	<p>福祉課</p>
<p>(2) 予防衛生対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな感染症を始めとする様々な感染症予防のための取組を推進します。 	<p>福祉課</p>
<p>(3) 心の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過労・生活困窮・育児や介護疲れ・いじめや孤立等の様々な社会的要因から、心の健康を保つことができない状況に陥らないよう、相談支援を始めとする様々な支援を充実します。 	<p>福祉課</p>
<p>(4) 医療体制の確保 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立温泉病院について、新宮保健医療圏でのリハビリテーションの拠点病院と位置づけられていることから、新宮市立医療センターとの機能・役割分担を明確化し、適切な診療体制確保に向けた、医師・医療スタッフ確保に努めます。 	<p>町立温泉病院</p>
<p>(5) 健康づくりの推進と医療費増加の抑制 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険・後期高齢者医療制度における健（検）診等保健事業の推進、診療報酬明細書の点検等による医療費の適正化に努めます。 	<p>住民課 福祉課</p>



生活習慣病予防教室の様子

基本指針Ⅳの達成指標

基本指針Ⅳ「福祉が充実したまちづくり」に関する施策の効果検証のために、次の達成指標を設定します。

◆指標1◆

「高齢者のための福祉サービス」 に関する町民満足度



◆指標2◆

「子育て支援体制」 に関する町民満足度



◆指標3◆

「障がい児者のための福祉サービス」
に関する町民満足度

現状値

56.8

(令和元(2019)年度)

目標値

62.0

(令和7(2025)年度)

【計画策定のための町民意識調査】

※町民満足度の計算方法については、P.91を参照してください。